

## 伊久身地区に地域おこし協力隊2人が着任

◎地域づくり課 ☎36・7197

市では、地域おこし協力隊員として、伊久身地区のために貢献してくれる担い手を公募し、10月1日付けで2人に委嘱状を交付しました。

新たに隊員となった阿部正さん（横須賀市出身）は「地域と協力して森林の活用や茶業振興などに取り組みたい」と、加藤潤さん（名古屋出身）は「地域に欠かせない存在になりたい」と、それぞれ染谷市長に意気込みを語ってくれました。

伊久身に移住した2人。今後は、自治会や農事組合法人などと協力し

ながら、地元の資源を生かした商品開発や情報発信など、地域の活性化のために活動します。



染谷市長から委嘱状を受け取る阿部さん(右)と加藤さん(中央)

## 生涯スポーツ功労者表彰の受賞を報告

◎社会教育課 ☎46・5616

10月19日、市教育委員会で開催する少年育成教室「しまだガンバー」の指導員会会長を務める小澤康恵さんが、平成28年度「生涯スポーツ功労者・文部科学大臣表彰」を受け、染谷市長を表彰訪問しました。今回の受賞は、30年以上にわたる青少年育成指導員としての活動が評価されたものです。

市レクリエーション協会理事長として、市民の健康づくりにも貢献している小澤さんは「多くの人の支え

があり、今まで取り組めた。これまでの活動が評価され、うれしく思う」と喜びを語ってくれました。



小澤康恵さん(右)と染谷市長

## 長野県中野市と災害時応援協定を締結

◎危機管理課 ☎36・7320

10月18日、静岡県東京事務所において、島田市と長野県中野市とが、災害時の応援に関する協定を締結しました。協定書には、災害が発生した場合の食料・生活物資の提供や、職員の派遣を行うことなどの項目が盛り込まれています。

締結後、染谷市長は「協定は、両市民の生活に安全と安心をもたらす」とあいさつし、中野市の池田茂市長は「災害に対する総合的な体制づくりを一層進める」と述べました。市が県外自治体と災害時応援協定

を結ぶのは、千葉県野田市・山形県山形市・富山県氷見市・石川県小松市に続いて5市目となります。



中野市の池田市長(右)と染谷市長

## 市道3路線の愛称看板を設置しました

◎土木管理課 ☎36・7181

新市誕生10周年を記念して全国から募集した、市道3路線の愛称。島田地区は「島田ばらの丘通り」、金谷地区は「金谷お茶の香通り」、川根地区は「川根さくら通り」と、各地区の路線のイメージに合う愛称が昨年度選ばれました。市では、これを表示した看板を設置しました。

今後、多くの人に親しみを呼んでいただけるように、道路の維持管理に務めていきます。

3路線の路線図など、詳細については、市ホームページ「新市誕生10周年記念事業」をご覧ください。



ばらの丘公園前に愛称の看板を設置